

【表紙】

| | |
|------------|---|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 東海財務局長 |
| 【提出日】 | 2019年11月8日 |
| 【四半期会計期間】 | 第51期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日） |
| 【会社名】 | 株式会社医学生物学研究所 |
| 【英訳名】 | MEDICAL&BIOLOGICAL LABORATORIES CO., LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 山田 公政 |
| 【本店の所在の場所】 | 名古屋市中区栄四丁目5番3号 |
| 【電話番号】 | (052)238-1901（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役 中井 邦彦 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 名古屋市中区栄四丁目5番3号 |
| 【電話番号】 | (052)238-1901（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役 中井 邦彦 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第50期 第2四半期 連結累計期間 | 第51期 第2四半期 連結累計期間 | 第50期 |
|----------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自2018年4月1日 至2018年9月30日 | 自2019年4月1日 至2019年9月30日 | 自2018年4月1日 至2019年3月31日 |
| 売上高 (千円) | 3,726,730 | 4,539,007 | 8,182,596 |
| 経常利益 (千円) | 203,665 | 671,087 | 552,190 |
| 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円) | 206,150 | 579,724 | 316,862 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 165,919 | 593,550 | 259,096 |
| 純資産額 (千円) | 7,089,390 | 7,782,649 | 7,189,174 |
| 総資産額 (千円) | 10,090,095 | 10,324,175 | 10,008,654 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 (円) | 39.87 | 112.12 | 61.28 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 70.3 | 75.4 | 71.8 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー (千円) | 654,841 | 836,658 | 822,460 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー (千円) | 6,826 | 119,213 | 5,845 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー (千円) | 39,094 | 294,874 | 403,288 |
| 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円) | 2,420,552 | 2,628,224 | 2,216,608 |

| 回次 | 第50期 第2四半期 連結会計期間 | 第51期 第2四半期 連結会計期間 |
|-----------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自2018年7月1日 至2018年9月30日 | 自2019年7月1日 至2019年9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益 (円) | 8.40 | 48.47 |

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 3 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）のわが国経済は、雇用環境は改善しているものの、継続的な人手不足による景気の腰折れリスクや10月1日からの消費税増税、米中貿易摩擦や英国の合意なきEU離脱、中東情勢による世界経済への影響懸念などから、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

こうした中、当第2四半期連結累計期間の売上高45億39百万円（前年同四半期比21.8%増）、営業利益7億69百万円（前年同四半期比504.6%増）、経常利益6億71百万円（前年同四半期比229.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億79百万円（前年同四半期比181.2%増）となりました。

前年同四半期と比較して売上高が増収となったことにより、営業利益以下も増益となっております。

当社事業の柱である臨床検査薬事業では、国内市場において自己免疫疾患検査試薬が堅調に推移していることに加え、昨年度発売した遺伝子検査試薬が売上増に貢献したこと、中国市場において現地診断薬メーカー向けのマテリアル販売が順調であったことが増収の主な要因です。増収に加え、グループ企業再編をはじめとする過去からの各種固定費低減施策により、当第2四半期連結累計期間における利益は順調に推移しております。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(ア) 試薬事業

臨床検査薬事業は、自己免疫疾患検査試薬が当社の第1の柱です。他社との競争が激化する中、品質の高さや手厚い学術支援などを評価いただき、国内市場においては引き続き自己免疫疾患の診断薬トップメーカーとして幅広く認知され、当社試薬を採用していただいているものと認識しております。

第2の柱として位置づけている遺伝子検査試薬は、昨年度発売・保険収載された「MEBGEN RASKETTTM-Bキット」、「MEBRIGHTTM NUDT15キット」が力強く売上が牽引しています。

また昨年に引き続き、中国市場においては企業向けマテリアルの売上高が伸長しました。企業向けマテリアルとは、当社中国子会社が現地診断薬メーカーに販売しているJSR株式会社の診断薬用ラテックスビーズ・磁性粒子や、当社中国子会社が製造する診断薬原料などを指します。

これらにより、臨床検査薬事業全体の売上高は前年同四半期を大幅に上回りました。

LSTR事業では、中国市場におけるデジタルマーケットなど基礎研究用試薬の拡販やテトラマー製品の売価見直しなどに取り組む一方で、国内市場は、前期に実施した製品ポートフォリオの見直しの影響に加え、国内アカデミアを中心に引き続き売上が低調であることから、LSTR事業全体の売上高は前年同四半期と同水準で推移しております。

これらの結果、試薬事業全体の当第2四半期連結累計期間の売上高は45億12百万円（前年同四半期比22.1%増）となり、セグメント利益は7億66百万円（前年同四半期比531.6%増）となりました。

(イ) 投資事業

投資事業においては、ファンドの管理収入により、当第2四半期連結累計期間の売上高は27百万円（前年同四半期比10.0%減）、セグメント利益は2百万円（前年同四半期比49.4%減）となりました。

販売実績

| セグメントの名称 | 前第2四半期連結累計期間 金額(千円) | 当第2四半期連結累計期間 金額(千円) | 前年同四半期比 (%) |
|-------------------|------------------------|------------------------|----------------|
| 1. 試薬事業 | | | |
| (1) 臨床検査薬事業(合計) | (3,154,939) | (3,966,362) | (25.7) |
| 1) 免疫・血清学検査試薬(小計) | (2,658,220) | (2,915,820) | (9.7) |
| 自己免疫疾患検査試薬 | 1,217,830 | 1,306,685 | 7.3 |
| がん関連検査試薬 | 336,206 | 373,919 | 11.2 |
| 企業向けマテリアル | 587,781 | 820,520 | 39.6 |
| その他免疫・血清学検査試薬 | 516,402 | 414,695 | 19.7 |
| 2) 遺伝子検査試薬(小計) | (496,719) | (1,050,541) | (111.5) |
| がん関連検査試薬 | 338,219 | 699,020 | 106.7 |
| 感染症検査試薬 | 103,927 | 118,967 | 14.5 |
| その他遺伝子検査試薬 | 54,572 | 232,553 | 326.1 |
| (2) LSTR事業(合計) | (541,790) | (545,645) | (0.7) |
| 1) 基礎研究用試薬(小計) | (482,676) | (457,830) | (5.1) |
| 抗体・ツール | 335,640 | 323,709 | 3.6 |
| 蛍光タンパク関連試薬 | 25,847 | 39,322 | 52.1 |
| その他基礎研究用試薬 | 121,189 | 94,798 | 21.8 |
| 2) テトラマー試薬(小計) | (59,113) | (87,814) | (48.6) |
| MHCテトラマー | 57,523 | 70,949 | 23.3 |
| その他 | 1,589 | 16,864 | 960.9 |
| 試薬事業計 | 3,696,730 | 4,512,007 | 22.1 |
| 2. 投資事業 | | | |
| バイオ関連企業への投資事業 | 30,000 | 27,000 | 10.0 |
| 投資事業計 | 30,000 | 27,000 | 10.0 |
| 報告セグメント計 | 3,726,730 | 4,539,007 | 21.8 |

(2) 財政状態の分析

(ア) 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は103億24百万円となり、前連結会計年度末に比較して3億15百万円増加しました。

・流動資産：当第2四半期連結会計期間末で68億68百万円となり、前連結会計年度末より4億18百万円増加しました。

これは主に、受取手形及び売掛金が1億6百万円減少した一方で、現金及び預金が4億11百万円、仕掛品が58百万円、原材料及び貯蔵品が54百万円増加したためです。

・固定資産：当第2四半期連結会計期間末で34億55百万円となり、前連結会計年度末より1億2百万円減少しました。

1) 有形固定資産は21億32百万円と、前連結会計年度末とほぼ同水準になりました。

2) 無形固定資産は2億96百万円となり、主に償却に伴い前連結会計年度末より26百万円減少しました。

3) 投資その他の資産は10億26百万円となり、前連結会計年度末より75百万円減少しました。

これは主に、関係会社長期貸付金が92百万円減少したためです。

(イ) 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債の額は25億41百万円となり、前連結会計年度末に比較して2億77百万円減少しました。

・流動負債：当第2四半期連結会計期間末で20億45百万円となり、前連結会計年度末より86百万円減少しました。

これは主に、短期借入金が96百万円減少したためです。

・固定負債：当第2四半期連結会計期間末で4億96百万円となり、前連結会計年度末より1億91百万円減少しました。

これは主に、長期借入金が1億86百万円減少したためです。

(ウ) 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の額は77億82百万円となり、前連結会計年度末に比較して5億93百万円増加しました。

自己資本比率は75.4%（前連結会計年度末は71.8%）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、26億28百万円（前連結会計年度末は22億16百万円）となり、前連結会計年度末と比較し4億11百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、8億36百万円の資金の増加（前年同四半期は6億54百万円の資金の増加）となりました。主な資金の増加要因は、税金等調整前四半期純利益が6億66百万円、減価償却費及びその他の償却費が1億97百万円、売上債権の減少額が1億17百万円、未払金の増加額が1億10百万円であります。主な資金の減少要因は、仕入債務の減少額が1億22百万円、たな卸資産の増加額が88百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億19百万円の資金の減少（前年同四半期は6百万円の資金の減少）となりました。主な資金の減少要因は、有形固定資産の取得による支出が94百万円、投資その他の資産の増加額が57百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億94百万円の資金の減少（前年同四半期は39百万円の資金の減少）となりました。主な資金の減少要因は、長期借入金の返済による支出が2億83百万円であります。

(4) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(6) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、3億89百万円であります。前第2四半期連結累計期間における研究開発活動の金額（5億47百万円）と比較すると1億58百万円の減少となっております。これは、第1四半期連結会計期間より研究開発費として処理していた研究開発関連業務の経費区分を見直し、一般管理費区分に変更したことによるものです。

なお、前連結会計年度の期首に当該見直しが行われたと仮定して算定した前第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、4億70百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 12,000,000 |
| 計 | 12,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年9月30日) | 提出日現在発行数(株) (2019年11月8日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 5,211,800 | 5,211,800 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数 100株 |
| 計 | 5,211,800 | 5,211,800 | | |

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額 (千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|--------------------------|-----------------------|------------------|----------------|---------------|----------------------|-----------------|
| 2019年7月1日～ 2019年9月30日 | | 5,211,800 | | 4,482,936 | | 4,198,269 |

(5)【大株主の状況】

2019年9月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式(自己株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%) |
|---|---|---------------|---|
| J S R 株式会社 | 東京都港区東新橋 1 丁目 9 - 2 | 2,627 | 50.81 |
| 数 納 幸 子 | 名古屋市東区 | 181 | 3.50 |
| 西 田 克 彦 | 愛知県尾張旭市 | 79 | 1.52 |
| GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL 常任代理人 ゴールドマン・サックス証券株 式会社 | 133 FLEET STREET LONDON EC4A 2BB U.K. 常任代理人 東京都港区六本木 6 丁目 1 0 番 1 号 六本 木ヒルズ森タワー | 71 | 1.37 |
| 江 本 晋 | 東京都墨田区 | 57 | 1.10 |
| 株式会社SBI証券 | 東京都港区六本木 1 丁目 6 番 1 号 | 53 | 1.03 |
| 楽天証券株式会社 | 東京都世田谷区玉川 1 丁目 1 4 番 1 号 | 45 | 0.87 |
| MSIP CLIENT SECURITIES 常任代理人 モルガン・スタンレーMUFG証券 株式会社 | 25 Cabot Square, Canary Wharf, London E14 4QA, U.K. 常任代理人 東京都千代田区大手町 1 丁目 9 - 7 大手 町フィナンシャルシティ サウスタワー | 41 | 0.80 |
| BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNYM GCM CLIENT ACCTS M ILM FE 常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行 | 2 KING EDWARD STREET, LONDON EC1A 1HQ UNITED KINGDOM 常任代理人 東京都千代田区丸の内 2 丁目 7 - 1 決済 事業部 | 29 | 0.56 |
| マネックス証券株式会社 | 東京都港区赤坂 1 丁目 1 2 - 3 2 | 23 | 0.45 |
| 計 | | 3,209 | 62.07 |

(注) 上記のほか、自己株式が41千株あります。

(6) 【議決権の状況】
【発行済株式】

2019年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 41,000 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 5,164,600 | 51,646 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 6,200 | - | - |
| 発行済株式総数 | 5,211,800 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 51,646 | - |

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が200株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数2個が含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|--------------|----------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| 株式会社医学生物学研究所 | 名古屋市中区栄四丁目5番3号 | 41,000 | - | 41,000 | 0.78 |
| 計 | - | 41,000 | - | 41,000 | 0.78 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|-----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,226,621 | 2,638,238 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,185,007 | 2,078,624 |
| 商品及び製品 | 804,489 | 774,693 |
| 仕掛品 | 591,916 | 650,817 |
| 原材料及び貯蔵品 | 511,287 | 565,326 |
| その他 | 133,661 | 162,987 |
| 貸倒引当金 | 2,400 | 2,017 |
| 流動資産合計 | 6,450,583 | 6,868,670 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,557,462 | 1,503,241 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 26,098 | 22,654 |
| 土地 | 76,909 | 76,909 |
| リース資産(純額) | 68,090 | 67,909 |
| 建設仮勘定 | - | 1,165 |
| その他(純額) | 404,544 | 460,336 |
| 有形固定資産合計 | 2,133,105 | 2,132,216 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 161 | - |
| その他 | 322,997 | 296,946 |
| 無形固定資産合計 | 323,158 | 296,946 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 33,762 | 14,714 |
| 長期貸付金 | 59,441 | 57,867 |
| 関係会社長期貸付金 | 656,851 | 564,278 |
| 長期前払費用 | 107,857 | 90,779 |
| その他 | 299,075 | 352,841 |
| 貸倒引当金 | 55,181 | 54,140 |
| 投資その他の資産合計 | 1,101,807 | 1,026,341 |
| 固定資産合計 | 3,558,071 | 3,455,504 |
| 資産合計 | 10,008,654 | 10,324,175 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 531,421 | 432,222 |
| 短期借入金 | 844,778 | 747,905 |
| 未払法人税等 | 121,954 | 136,770 |
| その他 | 633,511 | 728,148 |
| 流動負債合計 | 2,131,664 | 2,045,046 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 621,757 | 435,296 |
| その他 | 66,058 | 61,183 |
| 固定負債合計 | 687,815 | 496,479 |
| 負債合計 | 2,819,479 | 2,541,526 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,482,936 | 4,482,936 |
| 資本剰余金 | 4,198,605 | 4,198,605 |
| 利益剰余金 | 1,437,079 | 857,354 |
| 自己株式 | 43,861 | 43,937 |
| 株主資本合計 | 7,200,600 | 7,780,249 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 11,426 | 2,399 |
| その他の包括利益累計額合計 | 11,426 | 2,399 |
| 非支配株主持分 | 0 | 0 |
| 純資産合計 | 7,189,174 | 7,782,649 |
| 負債純資産合計 | 10,008,654 | 10,324,175 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 3,726,730 | 4,539,007 |
| 売上原価 | 1,682,677 | 1,896,115 |
| 売上総利益 | 2,044,052 | 2,642,892 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,916,728 | 1,873,090 |
| 営業利益 | 127,324 | 769,801 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 8,504 | 9,175 |
| 為替差益 | 71,825 | - |
| 保険解約返戻金 | - | 8,081 |
| その他 | 18,698 | 8,437 |
| 営業外収益合計 | 99,029 | 25,695 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6,283 | 4,625 |
| 持分法による投資損失 | 14,770 | 94,287 |
| 為替差損 | - | 24,650 |
| その他 | 1,634 | 846 |
| 営業外費用合計 | 22,688 | 124,409 |
| 経常利益 | 203,665 | 671,087 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 40 | 99 |
| 補助金収入 | - | 4,413 |
| 投資有価証券売却益 | 24,096 | - |
| 貸倒引当金戻入額 | 9,884 | - |
| 関係会社清算益 | 2,836 | - |
| 特別利益合計 | 36,858 | 4,512 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 574 | 9,165 |
| 貸倒引当金繰入額 | 4,300 | - |
| 特別損失合計 | 4,874 | 9,165 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 235,649 | 666,434 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 29,499 | 86,709 |
| 法人税等合計 | 29,499 | 86,709 |
| 四半期純利益 | 206,150 | 579,724 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失() | 0 | 0 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 206,150 | 579,724 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 206,150 | 579,724 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 21,927 | - |
| 為替換算調整勘定 | 17,878 | 15,238 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 425 | 29,064 |
| その他の包括利益合計 | 40,231 | 13,825 |
| 四半期包括利益 | 165,919 | 593,550 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 165,919 | 593,550 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 0 | 0 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 235,649 | 666,434 |
| 減価償却費及びその他の償却費 のれん償却額 | 212,848 | 197,311 |
| 固定資産除売却損益(は益) | 166 | 156 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 534 | 9,065 |
| 受取利息及び受取配当金 | 6,173 | 1,423 |
| 支払利息 | 9,143 | 9,175 |
| 為替差損益(は益) | 6,283 | 4,625 |
| 持分法による投資損益(は益) | 65,651 | 19,370 |
| 投資有価証券売却損益(は益) | 14,770 | 94,287 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 24,096 | - |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 173,263 | 117,959 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 9,670 | 88,834 |
| 未払金の増減額(は減少) | 85,857 | 122,113 |
| その他 | 63,147 | 110,539 |
| 小計 | 92,746 | 98,455 |
| 利息及び配当金の受取額 | 663,579 | 899,747 |
| 利息の支払額 | 9,155 | 9,214 |
| 法人税等の支払額 | 6,327 | 4,614 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 11,565 | 67,690 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | 654,841 | 836,658 |
| 定期預金の払戻による収入 | 10,013 | 10,013 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 10,012 | 10,013 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 129,054 | 94,094 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 43 | 16,991 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 68,676 | 18,702 |
| 貸付金の回収による収入 | 49,347 | - |
| 投資その他の資産の増減額(は増加) | 2,038 | 34,318 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 139,474 | 57,726 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | 6,826 | 119,213 |
| 長期借入金の返済による支出 | 300,000 | - |
| 自己株式の取得による支出 | 329,998 | 283,334 |
| リース債務の返済による支出 | 72 | 76 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 9,024 | 11,464 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 39,094 | 294,874 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 1,001 | 10,953 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 609,922 | 411,616 |
| 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額 | 1,813,965 | 2,216,608 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,334 | - |
| | 2,420,552 | 2,628,224 |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

連結会社以外の会社の金融機関からの借入等に対し、債務保証を行っております。

リース債務

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|-------------------------------|-------------------------|------------------------------|
| MBL International Corporation | 15,858千円 | 7,008千円 |

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日) |
|----------|---|---|
| 貸倒引当金繰入額 | 582千円 | 1,008千円 |
| 給与手当 | 609,139 | 586,885 |
| 研究開発費 | 547,790 | 389,614 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日) |
|---------------|---|---|
| 現金及び預金勘定 | 2,430,566千円 | 2,638,238千円 |
| 預入期間3ヶ月超の定期預金 | 10,013 | 10,013 |
| 現金及び現金同等物 | 2,420,552 | 2,628,224 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

配当金支払額

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

配当金支払額

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | 合計 | 調整額 | 四半期連結損益 計算書計上額 |
|---------------------------|-----------|--------|-----------|-----|-------------------|
| | 試薬事業 | 投資事業 | | | |
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 3,696,730 | 30,000 | 3,726,730 | - | 3,726,730 |
| (2) セグメント間の内部売上 高又は振替高 | - | - | - | - | - |
| 計 | 3,696,730 | 30,000 | 3,726,730 | - | 3,726,730 |
| セグメント利益 | 121,411 | 5,912 | 127,324 | - | 127,324 |

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | 合計 | 調整額 | 四半期連結損益 計算書計上額 |
|---------------------------|-----------|--------|-----------|-----|-------------------|
| | 試薬事業 | 投資事業 | | | |
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 4,512,007 | 27,000 | 4,539,007 | - | 4,539,007 |
| (2) セグメント間の内部売上 高又は振替高 | - | - | - | - | - |
| 計 | 4,512,007 | 27,000 | 4,539,007 | - | 4,539,007 |
| セグメント利益 | 766,809 | 2,992 | 769,801 | - | 769,801 |

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|---------------------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益 | 39円87銭 | 112円12銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円) | 206,150 | 579,724 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | | |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益(千円) | 206,150 | 579,724 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 5,170 | 5,170 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月8日

株式会社医学生物学研究所

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鬼頭 潤子 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 膳 亀 聡 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社医学生物学研究所の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社医学生物学研究所及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

会社の2019年3月31日をもって終了した前連結会計年度の第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表並びに前連結会計年度の連結財務諸表は、それぞれ、前任監査人によって四半期レビュー及び監査が実施されている。前任監査人は、当該四半期連結財務諸表に対して2018年11月7日付けで無限定の結論を表明しており、また、当該連結財務諸表に対して2019年6月24日付けで無限定適正意見を表明している。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。